



# 地域医療連携だより

H18.3  
第9号



兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号  
TEL.0798-45-6111 (大代表)  
TEL.0798-45-6001 (地域医療・総合相談センター)



病院長 山村 武平  
副院長 谷澤 隆邦 (診療体制 地域医療担当)  
太城 力良 (危機管理 経営企画担当)  
山田 繁代 (療養環境 職員研修担当)

地域医療・総合相談センター長  
難波 光義

## 理念

兵庫医科大学病院は、安全で質の高い医療を行い、地域社会へ貢献するとともに、よき医療人を育成します。

## 基本方針

- 患者の立場に立った医療の実践
- 人間性豊かな、優れた医療人の育成
- 高度で、先進的な医療や医学研究の推進
- 健康増進活動による保健・福祉の推進
- 地域の医療機関との円滑な連携

## 病院長のご挨拶



### 地域医療・総合相談センター開設に当たって

病院長 山村 武平

皆様こんにちは！ 私どもの病院ではかかりつけ医→当院外来→入院→退院→かかりつけ医という病診・病々連携の流れの中で、患者様により充実したサービスを提供する目的で、この度、地域医療・総合相談センターを開設致しました。

このセンターでは、患者様の紹介・逆紹介に関する支援は勿論、長期入院、あるいはハイリスク患者様の退院計画の支援・セカンドオピニオン・社会福祉相談・心理相談・看護相談・薬剤相談・栄養相談等、医療・福祉に関するありとあらゆる悩みにそれぞれの専門職域の相談員が個々に、あるいはチームとして対応し、地域完結型の医療を実践致します。さらに地域の皆様の健康管理にも役立つよう、種々の公開講座や健康教室を企画し実施したり、ボランティアの受入・管理等も当センターで行います。どうぞ私どもの意図を汲み取り、皆様方が大いにセンターを利用され、育ててくださいますようお願い申し上げます。

## ● 当院は病院機能評価の認定を受けました ●



当院は、平成17年12月、(財)日本医療機能評価機構の認定（一般病院）を受けました。

病院機能評価は同機構が第三者の立場から、医療機関の質やサービス改善への努力などを評価するものです。当院は今後とも、「期待され、信頼される」病院を目指して、より一層努力してまいります。

## 新任教授の紹介



### 形成外科学 垣 淵 正 男

平成17年12月1日付けで、本学に新設されました形成外科学講座を担当させていただきます。

形成外科では、身体各部の外傷や熱傷、悪性腫瘍切除などに伴う組織欠損、先天異常など、様々な疾患を扱います。特に、兵庫医科大学は阪神間の人口密集地かつ交通の要衝に位置しますので、外科系の各診療科で多くの症例が扱われます。悪性腫瘍切除後の再建手術、救命救急センターなどを通じて多数の患者さんが集まる顔面骨折、耳鼻咽喉科や眼科と協力しながら治療を進める耳介や眼瞼の先天異常は私達の診療の大きな柱であり、多くの症例を扱っております。今後は、より多くの患者さんを適切に治療できるような体制を整えていきたいと思っております。また、いわゆる美容外科も形成外科の専門分野のひとつであり、美容外科の教育・研修は、大学病院の役割のひとつとなると予想されます。高い診療技術と見識を求められるこの分野でも、広く社会に認められる施設を目指したいと思っております。さらに、組織移植や創傷治癒に関する研究も進め、基礎医学の分野でも貢献できるよう努力したいと思っております。スタートを切って間もない診療科ですが、皆様のご支援をよろしく願いたします。

## 治療最前線

### 逆流性食道炎

「胸焼け」週に1～2回以上なら受診を ・ 胃酸の分泌を抑える薬を飲む

「朝日新聞2006年1月26日掲載記事より」

みぞおちや胸のあたりが焼けるように熱い感じがする「胸焼け」。国民の2～3割が感じているといえます。「よくあること」「気のせいだ」などと思って、そのままにいませんか。専門の医師は「週1～2回以上起こるようなら、医療機関で受診してほしい」といいます。もしかしたら、「逆流性食道炎」かもしれません。(永島学)

逆流性食道炎は、胃酸など胃の内容物が逆流して食道に上がってくるために起こる食道の炎症。食道は胃の内側と違って胃酸から守る働きがなく、炎症が起きやすい。このため潰瘍やびらんが生じ、内視鏡(胃カメラ)で見て初めてわかる。放置しておく、可能性はそれほど高くはないが、食道がんになるケースもあるという。



三輪教授

消化器内科・上部消化管科

三輪洋人教授外来  
毎週火・木 午前  
胸焼け専門外来

代表的な症状が胸焼けや、のどや口に酸っぱいもの(胃液)がこみ上げてくる症状(呑酸)などだ。

神戸市中央区の富永クリニックでは、「夜、寝ていたら胸のあたりがモヤモヤする」などと訴える逆流性食道炎の患者が少なくない。富永了医師は「逆流性食道炎の患者は長い目で見ると増えつつある」という。場合によっては、ぜんそくのような呼吸器症状も見られ、「働き盛りに多

いように感じる」と話す。逆流性食道炎は欧米人に多く、10～15年前まで日本での発症例は極端に少なかった。食生活の欧米化で栄養がよくなり、脂肪の摂取量が増えたり、肥満が増えたりしたことに加え、診断方法が進歩したため、潜在的な患者も含め、国内でも非常に多い病気とわかった。

なぜ、胃酸などの胃の内容物が逆流して食道に上がってくるのか。兵庫医科大学の三輪洋人教授(内科・上部消化管科)に聞いた。逆流には「二つの大きな要素がある」という。まず、食べ過ぎで胃がいっぱいになったり、胃酸が出過ぎたりすると逆流しやすくなる。かがんだりして、おなかを圧迫するのも起きやすくなる要因だ。もう一つは、食道と胃のつなぎ目でバルブや弁のような働きをする筋肉(下部食道括約筋)がうまく働かず、逆流防止になっていないことだ。

三輪教授によると、治療は医師の指示に従いながら胃酸の分泌を抑える薬を飲む形で進める。

1週間ほどで自覚症状はなくなるが、完全になるまでは2ヶ月ほどの時間がかかるという。

一方で、胸焼けを起こしやすい油っこい食べ物や、暴飲暴食は避けるといった日ごろの生活上の注意点もいくつかあるようだ。

#### —— 日常生活上の注意点 ——

！まずは食生活を改善

- ・早食い、大食いはしない
- ・脂肪の多いものや刺激物は控える
- ・食後すぐに横にならない
- ・アルコール、たばこは控えめに
- ・肥満解消に努める

！おなかを圧迫する姿勢や服装をしない

！寝るときは上半身(腰から上)を高く

三輪教授は「食事療法で症状がかなり楽になる場合もある。ただ、食事をいつも気にしているとストレスになり、生活の質（QOL）を落としかねない」といい、基幹病院など医療機関での積極的な治療を呼びかけている。「こんなに楽なのかと思うほど治療で改善する可能性がある」という。

また、本来の逆流性食道炎とは別に、胸焼けがひどいにもかかわらず、内視鏡の検査で食道に潰瘍やびらんなどの炎症が見られない人も少なくないという。こうした症状を含めて「胃食道逆流症（GERD）」という概念がこの4～5年、定着しつつある。原因はまだ研究段階だが、三輪教授は「食道の知覚過敏が関係している可能性が高い」とみている。

つつい食べ過ぎた後に感じる胸焼けは、我慢しようと思えばできてしまう。そこが「くせ者」なのかもしれない。たびたび感じるようなら、「これぐらいなら我慢せず、受診するのが肝心」との思いを強めた。

## 地域医療・総合相談センターのご紹介

### ● センター長のご挨拶 ●



センター長 難波光義

兵庫医科大学病院と地域医療機関との緊密な病診・病病連携をはじめ、あらゆる患者様の院内外における治療・療養の円滑な移行に関するご相談は、この2月よりすべて私共地域医療・総合相談センターの職員がお手伝いさせて頂くことになりました。具体的な業務・サービス内容は別項に記載しておりますが、極めて広汎に及んでおります。

院内の各専門外来・病棟・部門はもとより、総合診療部・医療社会福祉部・栄養サポートチーム（NST）・感染対策チーム（ICT）・褥瘡対策チームなど横断的活動を行うスタッフと迅速な情報交換を行いながら、「最も適切な医療を、最も必要な時期に、最も優れたスタッフによって」提供できるよう、職員一同意欲的に取り組んでまいります。地域の先生方と手を携えながら少しでも患者様とご家族のお役に立ちたいと考えておりますので、ご要望やご叱責を遠慮なくお寄せ頂きますようお願い申し上げます。

### ● センターのご紹介 ●



#### 地域医療・総合相談センター発足までの経緯

従来までの地域医療室は、かかりつけ医からの流れをつくるために紹介、逆紹介の支援組織として特に組織的な位置付けはなく設けられましたが、ますます病診・病病連携の必要性が認識されることになり地域医療室機能も強化する必要性が生じてきました。

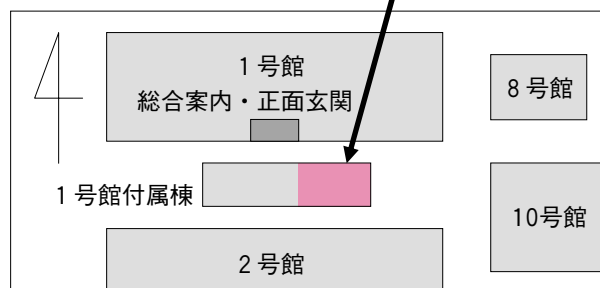
そこで、入院、通院する患者さま及びそのご家族等が適切でより良い療養及び社会生活が営めるよう包括的援助を行うと共に、特定機能病院としての役割を果たすために積極的に地域医療機関との連携を推進し、地域住民が医療・保健・福祉の統合の下に、より適切な医療等を受けることができるよう幅広い活動を行うことを目的に設立しました。



当センター入口

### 当センターの場所

1号館附属棟1階東側（正面玄関前）



### 主な業務内容

病診・病病連携支援	FAXによる紹介患者さまの外来診療受付、地域医療懇談会・地域医療フォーラム・院内外勉強会の企画開催、登録医及び開放型病床の管理、逆紹介先医療機関のデータ管理
ベッドコントロール	空床の効率的運用、管理、病床利用状況の速やかな院内開示
退院調整	退院後の在宅ケア支援、訪問看護ステーション及び介護支援センターとの連携
総合相談	総合案内、受診相談、専門相談（医療福祉相談、看護相談、くすり相談、栄養相談、苦情対応など）
広報	診察のご案内・地域医療連携だよりの発行配布、ホームページなどに外来診察担当医一覧表・休診医師・代診医師の最新情報の提供、市民健康講座等の企画開催
ボランティア活動支援	ボランティアの方々の募集、受入等に関すること

### 各相談担当紹介

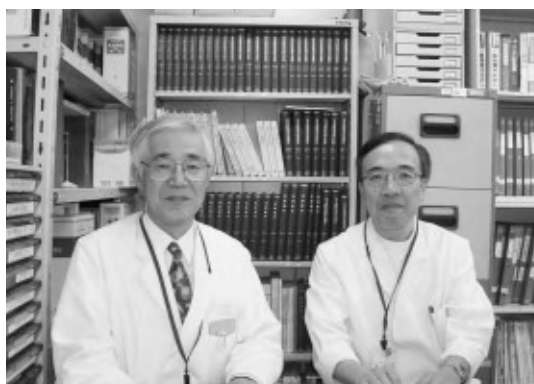
#### 看護相談担当



看護部門は、平成16年5月より在宅看護相談室において相談業務を行ってまいりました。このたびセンター化されることにより、他職種の方たちとさらに共同して密な情報交換や連携がとれるようになります。この新しい体制を活かしてスムーズな退院調整、福祉制度の利用に関する紹介など、患者様およびご家族の方々が安心して自宅での療養生活を過ごせるよう今まで以上に支援していきたいと考えております。

開業医の先生方、訪問看護ステーションならびに介護支援センター等地域各機関の皆様と、さらなる連携の充実を図っていく所存でございますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

## くすり相談担当



この度、地域医療・総合相談センターにくすり相談を開設することになりました。薬の名前や効果、飲み方、使用方法、副作用、相互作用、その他使用上の注意などの相談や質問を薬剤師が受け付けています。ご相談に来られた方の薬に関するご理解を深めていただくよう努めています。どうぞお気軽にご利用下さい。

なお、従来より1号館1階待合ホール内に開設しています「お薬相談室」(⑩番お薬渡し口の右隣り)においても薬に対する疑問や質問等のご相談をお受けしています。こちらもどうぞご利用ください。



## 栄養相談担当



栄養指導は、糖尿病・高血圧・高脂血症等の生活習慣病、慢性腎炎などの腎疾患、C型肝炎等の肝疾患、クローン病・潰瘍性大腸炎の炎症性腸疾患等の個人指導を栄養指導室で行っております。しかし、これらの栄養指導は、医師の依頼の下に厳格に行われ、従来からの患者様が気軽に来て聞くことは出来ませんでした。

この度、栄養相談を開設することで、栄養指導のように個別対応した詳細な内容は無理ですが、簡単なお食事の相談が出来るようになりましたので、是非ご利用下さいませ。



## 事務担当

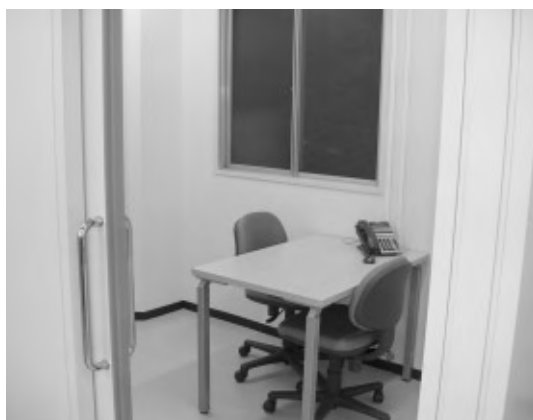


地域医療機関との連携を深め、患者様を中心とした治療の一貫性を図り、相互の診療機能を効果的に活用することを目的として、平成6年5月に地域医療室が設置されました。

地域医療課課員は地域医療室業務の担当として、設置当初はわずか3名のスタッフでしたが、地域医療・総合相談センターが開設するにあたってスタッフを増員し、佐藤課長以下臨時職員も合わせて、11名で業務を行っております。

従来の受診予約患者受付業務の他、患者様を対象とした市民健康講座の開催、地域の先生方を対象とした地域医療懇談会、勉強会の開催、ボランティアの支援、ベッドコントロール、センターの広報活動など患者サービスの一環として、幅広く業務を拡大しております。どうぞ宜しくお願いいたします。

## 一般相談について



地域医療・総合相談センターでは、当院の医療等に関して、ご相談をお受けしております。

患者様がお持ちのさまざまなご相談内容に応じて、適切に対応させていただける部署をご紹介します。

受付時間 月～金 午前8：30～午後4：30  
土（第1・3・5）午前8：30～午後12：30

## 当院の紹介患者様の予約について

所定の紹介状（診療情報提供書）にご記入後、患者様のお名前（フリガナ）・性別・生年月日・現住所・電話番号・保険情報を受診希望日の前日までにFAXでお送りください。

診察当日に事前にカルテをご用意いたします。



紹介状（診療情報提供書）・専用封筒

所定の紹介状（診療情報提供書）・専用封筒は、お電話をいただきましたらお送りさせていただきます。

※紹介先がご不明な場合にも、お気軽に地域医療・総合相談センターまでお電話下さい。

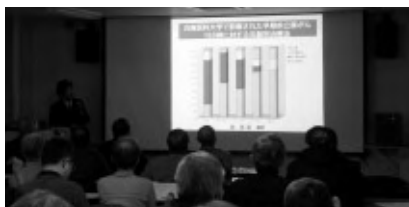


総合案内（1号館1階正面玄関内左）

紹介予約患者様につきましては、予約診療科に担当職員がご案内させていただきます。

※紹介受診予約の患者様につきましては、総合案内（1号館1階正面玄関内左）にお越し下さい。  
また院内のご案内等はこちらで受け賜っておりますので、お気軽にお尋ね下さい。

## 市民公開講座のお知らせ



開催場所：兵庫医科大学

その他：**申込不要、参加無料**

特定機能病院として、より高度な医療技術と医療情報を提供するとともに、地域の基幹病院として、患者様やその家族、そして地域住民との間に医療を通じて深い信頼関係を築き、**患者サービス**の向上を図ることを目的として、本講座を定期的開催しております。

どなたでも、ご自由に参加できますので、どうぞ受講下さい。(参加無料、申込不要、定員60名)

開催日	テーマ	講演者	開催場所・時間
3月29日(水)	慢性閉塞性肺疾患	内科 助手 宮田 茂 呼吸器・RCU科	第3会議室(10号館3階) 15:00～16:30
4月5日(水)	肺癌の外科治療	呼吸器外科 教授 長谷川誠紀	第3会議室(10号館3階) 15:00～16:30
4月19日(水)	膝の変形と痛み	整形外科 教授 吉矢 晋一	9-3講義室(9号館5階) 15:00～16:30
5月17日(水)	内視鏡手術って? ～知っておきたい予備知識～	第一外科 助手 岡田 敏弘	第3会議室(10号館3階) 15:00～16:30
5月31日(水)	肝癌を予防するには	内科 教授 西口 修平 肝・胆・膵科	第3会議室(10号館3階) 15:00～16:30



○参加無料・申込不要

○お問い合わせ：0798-45-6035 (ダイヤルイン)  
〒663-8501

西宮市武庫川町1番1号

兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター

### 編集後記

この冬は暖冬予想を大きく覆す一転して寒い冬でしたが、スタッフ全員風邪も引かず毎日頑張ってまいりました。今後も明るい笑顔を絶やさないよう頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。

(編集委員・地域医療・総合相談センター一同)

### ◆編集・発行

平成18年3月20日

兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号

T E L 0798-45-6111 (大代表)

0798-45-6001 (地域医療・総合相談センター)

F A X 0798-45-6002 (紹介予約専用)